



財務大臣 片山 さつき 様

原子力防災に関する要請書

令和8年3月4日

静岡県 御前崎市

要請書

令和8年1月5日に中部電力株式会社から公表された、浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案は、安全評価の根本に深刻な影響を与える内容であります。

そのような中、現在浜岡原子力発電所には、6,542体の使用済核燃料が保管されております。新規制基準適合性審査の進捗や原子力発電所の稼働の有無にかかわらず、原子力発電所が立地し、敷地内に使用済核燃料が保管されている状況においては、原子力防災対策の強化は依然として不可欠であります。

現在、別図のとおり、原子力災害時における避難道路の路線計画を検討しているところであります。そこで、避難計画の実効性向上に向けた取り組みやインフラ整備・強靱化の推進を図るため、これらに対する予算を特別枠において確保し、原子力防災対策の強化のための支援を確実に継続することを関係省庁に要請しますので、貴省におかれましても原子力防災対策の重要性をご理解いただき、予算措置いただきますよう強く要請します。

静岡県御前崎市長 下村 勝



原子力災害時の避難道路の路線計画

令和8年2月27日現在

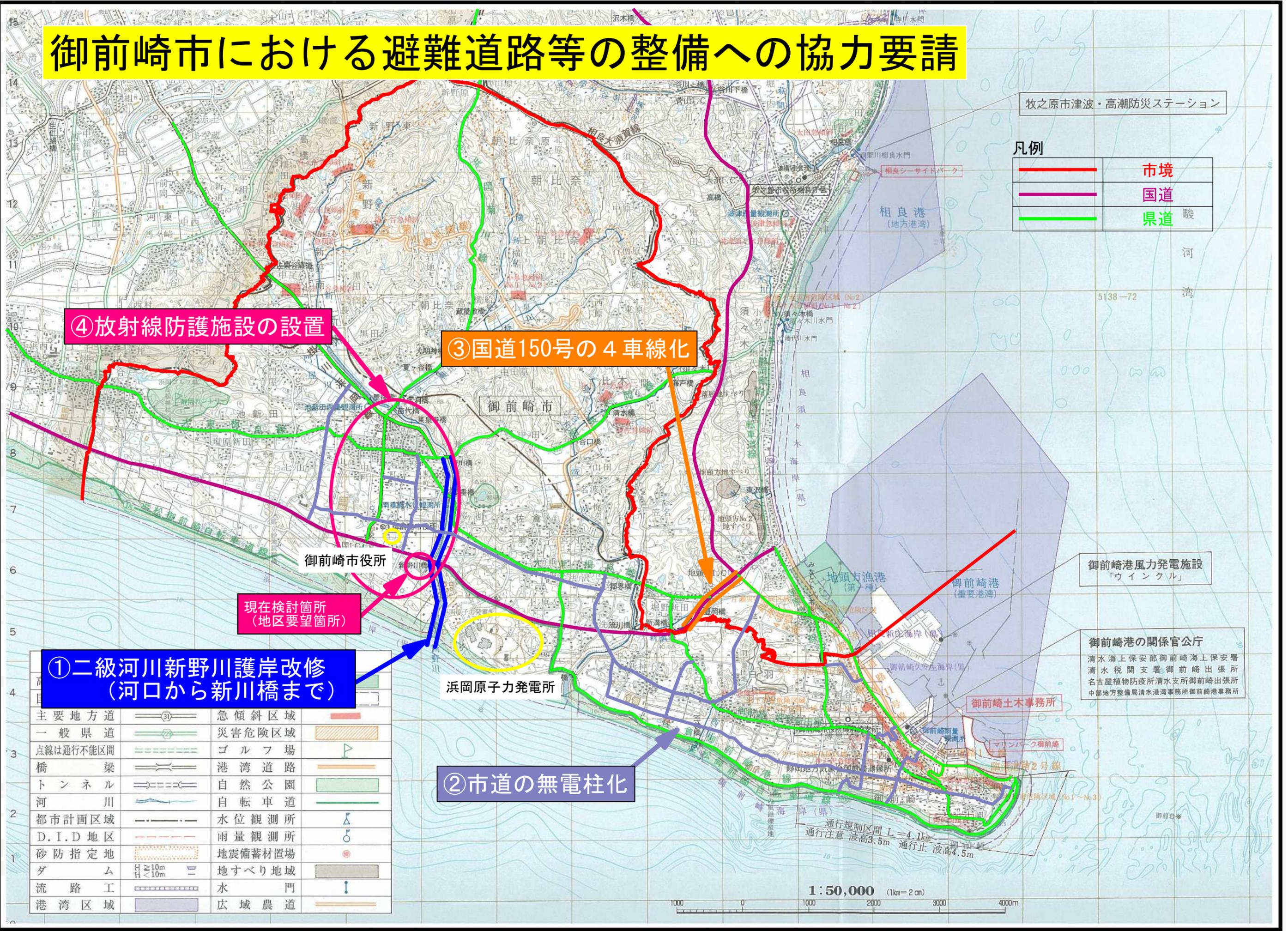
優先すべき避難路

- ・浜岡原子力発電所を中心として市避難計画上及び想定される避難路を合わせた6ルートで直近の高速ICに避難するための経路の確保及びICの追加
- ・一級河川菊川水系の氾濫により、ルートが制限されないよう河川対策（国交省 水管理・国土保全局 治水課）

- ① 県道大東相良線~県道41号~袋井IC
- ①' 国道150号~浜松市（原子力単独災害）
- ② 県道247号~県道38号~掛川IC
- ③ 県道掛川浜岡線~菊川IC
- ④ 大規模農道~県道浜岡菊川線~相良牧之原IC
- ⑤ 国道150号バイパス~相良牧之原IC
- ⑥ 国道150号~吉田IC



御前崎市における避難道路等の整備への協力要請



牧之原市津波・高潮防災ステーション

凡例

—	市境
—	国道
—	県道 駿

④放射線防護施設の設置

③国道150号の4車線化

①二級河川新野川護岸改修
(河口から新川橋まで)

②市道の無電柱化

現在検討箇所
(地区要望箇所)

浜岡原子力発電所

御前崎港風力発電施設
「ウインクル」

御前崎港の関係官公庁
清水海上保安部御前崎海上保安署
清水税関支署御前崎出張所
名古屋植物防疫所清水支所御前崎出張所
中部地方整備局清水港湾事務所御前崎事務所

御前崎土木事務所

主要地方道		急傾斜区域	
一般県道		災害危険区域	
点線は通行不能区間		ゴルフ場	
橋		港湾道路	
トンネル		自然公園	
河川		自転車道	
都市計画区域		水位観測所	
D.I.D地区		雨量観測所	
砂防指定地		地震備蓄材置場	
ダム		地すべり地域	
流路工		水門	
港湾区域		広域農道	

1:50,000 (1km=2cm)



通行規制区間 L=4.1km
通行注意 波高3.5m 通行止 波高4.5m

【概算金額】

- ①二級河川新野川護岸改修（河口から新川橋まで） 金額は未定
- ②市道の無電柱化 160 億円
- ③国道 150 号の 4 車線化 12 億円
- ④放射線防護施設の設置 8 億円

【現状と事業効果】

①

事業名	二級河川 新野川護岸改修	延長	シミュレーション結果による
現状	第 5 次地震被害想定策定時に浜岡原子力発電所の防波壁に衝突する津波についての相談とシミュレーションを県危機管理部に依頼しており、その結果に沿った整備については、県河川砂防局に要望している。		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸を強化することで高潮や豪雨時の浸水被害を防止 ・河岸や海岸の浸食を抑え、土砂の流出を防ぐ ・周辺地域の浸水範囲を狭め、人的・物的被害を減少させる ・河口付近の重要な施設やインフラを守る 		

②

事業名	市道の無電柱化	延長	約 29 k m
現状	<p>地震災害と原子力災害の複合災害を想定すると、浜岡原発からの避難経路における無電柱化の推進は喫緊の課題である。</p> <p>このため、まずは、市役所前の市道 2 0 8 号線を令和 8 年度に静岡県無電柱化推進計画に位置付けるよう調整している。</p> <p>本市としては、市道から着手し、続いて国道・県道の協議を行い、来年度以降、市の無電柱化推進計画策定を進める予定である。</p>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、原子力災害における複合災害時の避難路において、電柱倒壊や電線断線のリスクが減り安全性が高まり、かつ、円滑な避難を図ることができる。 		

③

事業名	国道 150 号の 4 車線化	延長	1.2 k m
現状	<p>牧之原市内である当該箇所は、静岡県、牧之原市、御前崎市で事業化に向けた協議を行っている。現在、牧之原市が地元自治会に対し、整備に関する意見照会を依頼し自治会内で意見集約を行っている。</p> <p>県は、本年度、社会資本整備総合交付金（広域連携事業）の整備計画に本事業の位置づけを行ったが、地元意見集約が完了していないことから、牧之原市、御前崎市も合意の上、令和 8 年度予算要望を見送っている。</p> <p>本市が当該箇所を要望する理由は、一部が本市の土地であることと、避難時に当該区間を使用して東名高速道路相良牧之原 IC へ向かう人たちの多くが本市民であるため。</p>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に通行できる車線数が増え、円滑な通行が可能となる ・道路が広くなることで緊急車両が通行できるスペースが確保しやすい ・物流の効率化や移動時間の短縮が見込まれ地域経済の活性化につながる 		

④

事業名	放射線防護施設の設置	場所	池新田地区内
現状	<p>池新田地区の要配慮者の避難先が災害対策本部（御前崎市役所西館）と同じ場所に設定されているため、災害対策本部の運営に支障をきたす恐れがある。したがって、西館避難所への避難者を同地区の他の場所へ移すことが課題となっている。</p>		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな避難先を設置することで、災害対策本部（御前崎市役所西館）へ避難する要配慮者 130 名分の避難場所の確保ができる ・周辺住民の健康リスクを軽減し、安全な生活環境を提供することができる 		